立花生徒会新聞 signal通信

スローガン

今年の年間スローガンの募集にご協力していただきありがとうございました。たくさんの素晴らしい作品の中から、今年度は、「未来を創る思いやりの視点」に決まりました。これは、「全校生徒ひとりひとりが、思いやりを持ち、助け合える学校にしたい。」という意味を持っています。

では、なぜ学校は集団で生活するのか、考えたことはありますか？学校に行かなくても、個人で家庭学習をしたらよいのではないのか？と疑問に思います。個人的な考えになるのですが、「学校」とは学ぶために行くのはもちろん、人としての心を養う場ではないのかと思います。大人になるための心を大事に育てる場所は、私たちが通っている、この「学校」なのです。思いやりの心は誰でも持っています。しかし、他人に対してその心を使うことが出来る人が、本当の思いやりの心を持っている人と言えるのです。「毎日部活があっては精神面が疲れてしまう。」という人がいるかもしれません。確かに、つらくて逃げ出したくなる日が、あってもおかしくはありません。でもそれは、毎日が充実している・毎日が楽しいという証なのです。でも、つらくなった時、人生の先輩となる大人の人や周りの信頼できる友達に話してみましょう。特に、お父さん、お母さんはつらい時を乗り越えた人生の先輩です。そして、逃げ出したくなる思いを乗り越えた先には、思いやりの心がしっかりと成長し、立派になった自分がいることでしょう。ですから、毎日通うこの立花中学校で、思いやりの心を養うことを日々意識しながら頑張りましょう。

「学校」は生徒ひとりひとりによって成り立ちます。だからこそ、皆さんの行動、態度、言動等で立中の価値が変わってしまうのです。ですから、この「未来を創る思いやりの視点」をひとつの目標として、そして、一年後目標を達成できたかを自己評価してみましょう。

修学旅行

先月二十三日から二十五日までの三日間、三年生は沖縄県に修学旅行に行ってきました。修学旅行のスローガンは、〈最後に良かったと言えるように、一、平和と自然を感じる・一、やるときはやる・一、縁学年の絆を深める　この三つを極めてスタートダッシュを決める〉でした。私たち3年生はこのスローガンを目標に修学旅行を過ごしてきました。

たくさんの思い出ができた修学旅行。一日目は、主に平和学習を行いました。平和祈念公園にある平和の礎（へいわのいしじ）では、沖縄戦で亡くなられた戦没者の方々に黙祷を捧げました。平和祈念資料館では、当時の写真や遺品の数々を目の当たりにし、二度と戦争を起こしてはいけないと気持ちを新たにしました。そして、この日の夜から、民泊体験です。各家庭で、三味線やサーターアンダギーづくりなど様々な沖縄の文化に触れることが出来たのではないでしょうか。二日目の民泊体験の後は、ホテルのビーチでマリンスポーツ体験をしました。沖縄の海は、とてもきれいで、美しいものでした。三日目の班別自主研修では、私たち生徒だけで、国際通りを観光しました。人気の観光地という事もあり人の多さには圧倒されましたが、どの班も時間に遅れることなく、那覇空港へ到着する事が出来たので、良かったと思います。

ところで、三年生のみなさん。修学旅行の目標は達成できましたか。ただ楽しむだけでは、修学旅行に行った意味がありません。しっかりと振り返ることが大切です。これからの生活に活かせること、修学旅行で学んだことをきちんと整理し、日々の生活を送っていくようにしましょう。

また、一・二年生のみなさん。修学旅行は、三年生にとって最大の行事です。私たちの修学旅行は、とても楽しく最高の想い出となりました。一・二年生のみなさんは、「まだまだ先のことだから…」と思うかもしれませんが、今から学年での絆を深めておきましょう。そして、私たちと同じように、想い出に残る素晴らしい修学旅行を作ってください。

signalの意味
『信号』
思いやりの
ある学校へ

第5号　平成28年
5月16日　月曜日
尼崎市立立花中学校
生徒会新聞

部活動について

短かったゴールデンウイークも終わり、夏の暑さも少しずつ厳しくなってきました。みなさん、部活動には励んでいますか。

一年生のみなさんは入部してから、約一ヶ月が経とうとしています。そろそろ各クラブの活動にも慣れてきた頃ではないでしょうか。先輩に教えてもらいながら、辛い練習でも頑張ってきたことと思います。中には辛くて、くじけそうになってしまったこともあったかもしれません。しかし、苦しい練習でもくじけずに続けると、今後に繋がっていくと思います。なので、辛い練習も乗り越えて良い結果がでるように毎日の練習を一生懸命頑張ってください。これからの三年間、「このクラブに入って良かった。」と思えるように努力していきましょう。また二年生のみなさんは、今まで先輩方に教えてもらっていたことを後輩に教える立場となりました。これからは、一年生を引っ張っていかなければなりません。なので、後輩の良き手本となれるように日々の活動を一生懸命頑張りましょう。そして、今はまだ三年生がいます。ですが、多くのクラブはこの夏で三年生の先輩方は引退されます。三年生の先輩方が引退されると、二年生のみなさんが、中心となり活動していかなければなりません。なので、自分のことだけでなく、周りにも目を向けられるようになりましょう。

そして、三年生のみなさんはまとめの時期が近づいてきています。これまで三年間こつこつと努力をしてきた事と思います。その全てを最後の大会、発表会で悔いの残らない結果をだして終われるように頑張って下さい。またこれまで共に部活動を続けてきた仲間との時間を大切にして下さい。ここまでみなさんが続けてこられたのは、きっと一人ではなく仲間がいたからこそだと思います。そして、今まで自分たちが頑張ってきたことを後輩達に引き継いでもらえるように、頑張って下さい。残り少なくなってきた部活動の中で自分の力を精一杯出し切れるような、有意義な時間を過ごしましょう。

体育大会

6月11日に体育大会があります。1年生にとっては中学校生活初めての体育大会になり、3年生にとっては最後の体育大会となります。1年生のみなさんは緊張する場面が多くあると思いますが、4月からの新しいクラスでの団結力を試す機会です。協力し合って優勝を目指して下さい。2年生は去年とは違い1年生の見本になる立場です。気を引き締めて頑張りましょう。3年生はその2年生よりも良い見本になれる行動をしなければなりません。そのためにも普段の体育の授業でのラジオ体操や声だしに、1人1人が集中して取り組んで意識を高く持って下さい。そして、自分たちのクラスを優勝へと導きましょう。

体育大会では、個人種目と団体種目との2つに分かれます。個人種目の良いところは自分自身がクラスのために頑張れるところです。全員がクラスのために頑張ろうとすればするほど、場の雰囲気が良くなり気持ちの良い体育大会になっていくと思います。なので、精一杯頑張るようにしましょう。団体種目の良いところはクラス、学年が心を1つにして頑張れることです。1人1人が真剣に取り組んでいくことによって、1つの団体ができます。その団体から得られる迫力や感動は本当にすごいものだと思います。なので、周りの人を感動させられるようなものを創り上げましょう。

体育大会の前には体育大会の練習がたくさん入ってきます。その時には行進やラジオ体操と全学年が1つのことをする場面があります。ここで気を抜いてしまうと周りの動きを乱してしまいます。暑くてしんどい時もあると思いますが、やる時はやるを実行するようにしましょう。

また、今年のスローガンである「未来を創る思いやりの視点」とあるように、思いやる心を持って「みんなしんどいのは同じだから自分も頑張ろう。」と思って練習、本番と頑張りましょう。クラスの絆を深められる良い体育大会にしましょう。

編集後記

三年生の修学旅行が終わりました。ひとりひとりとてもよい思い出になったのではないのでしょうか。また、六月の体育大会も近づいているので、日々の勉強はもちろんのこと、練習にも真剣に取り組むようにしましょう。（渡邊・大木・野村・夕部）